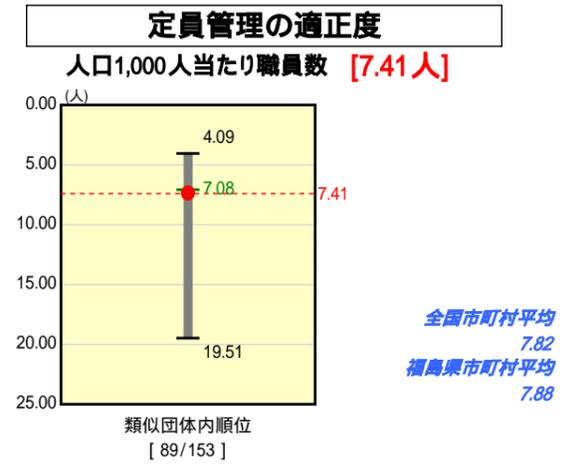
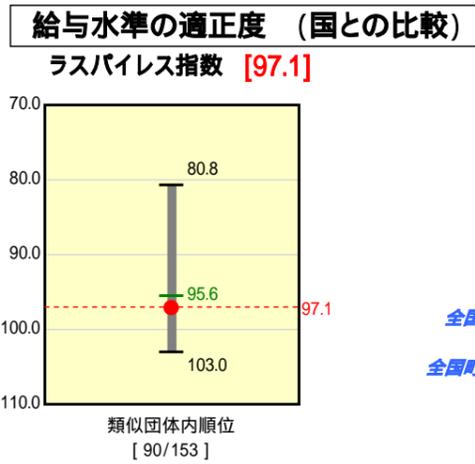
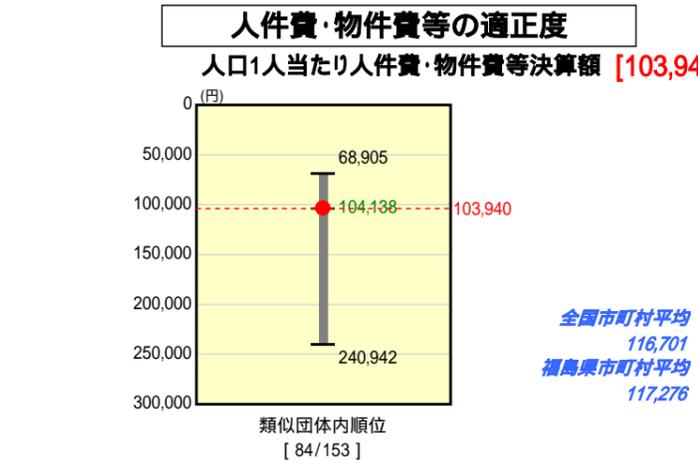
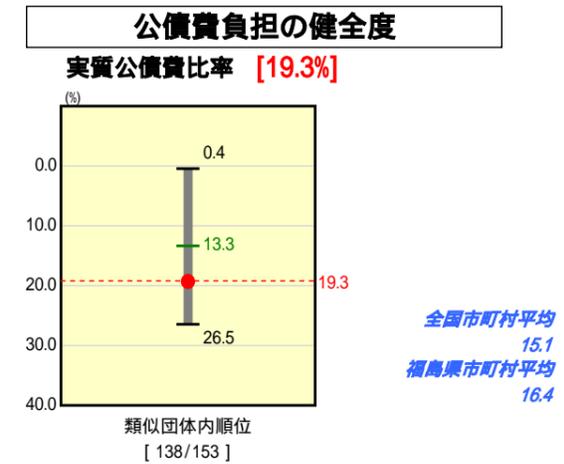
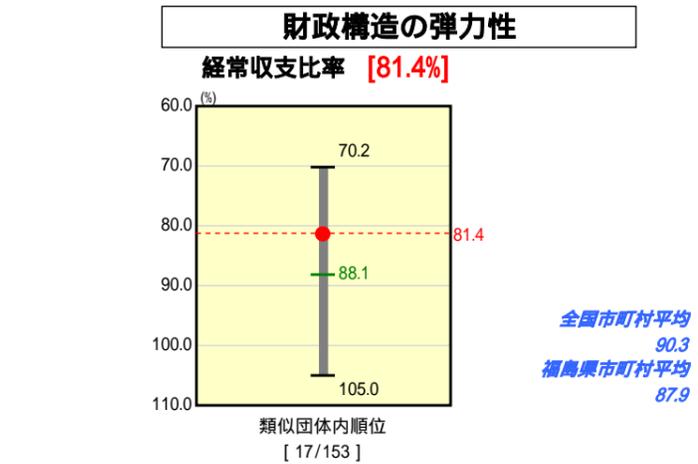
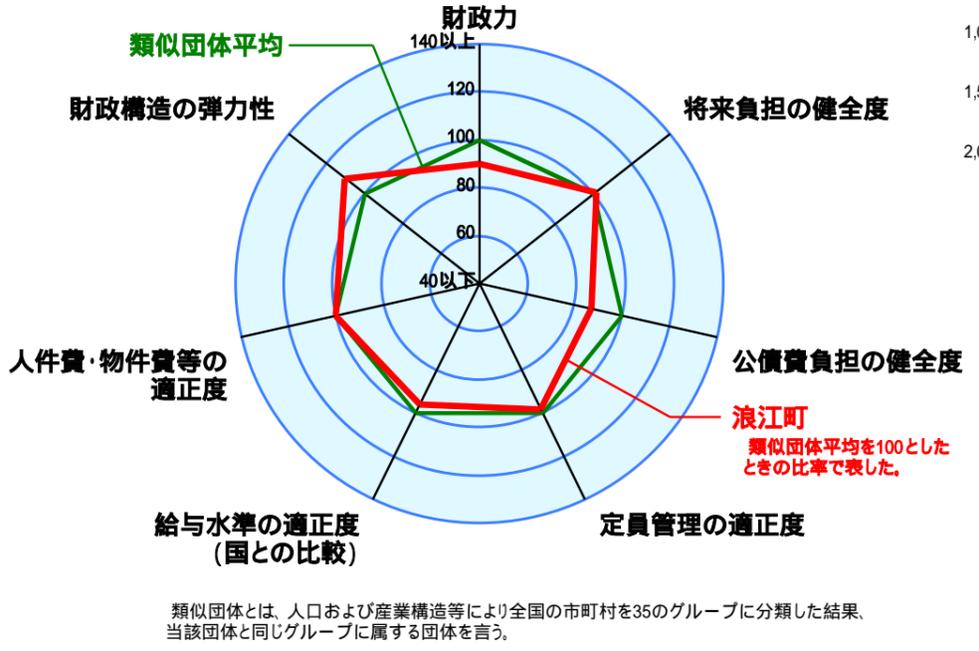
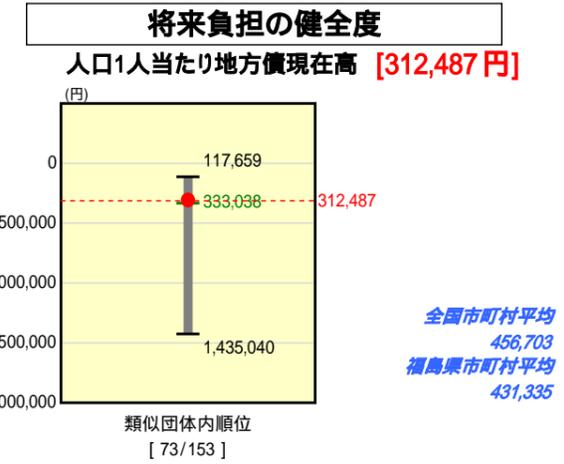
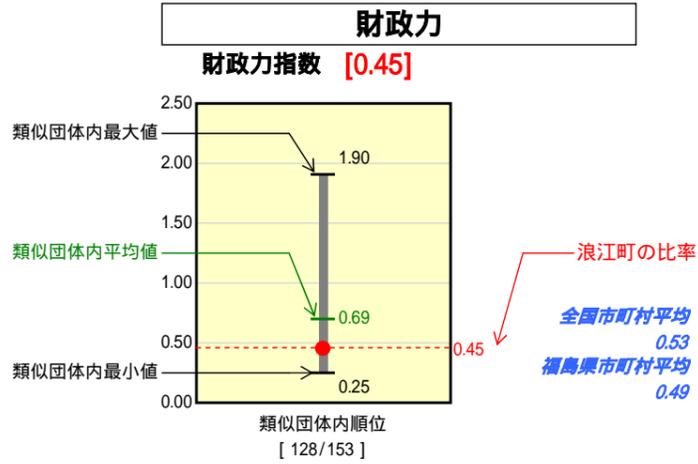


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 福島県 浪江町

人口	22,142 人(H19.3.31現在)
面積	223.10 km <sup>2</sup>
歳入総額	7,584,705 千円
歳出総額	7,370,245 千円
実質収支	210,308 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

財政力指数: 財政力指数 0.45は前年度に比べ0.01増加しているが、近年の少子高齢化の進行による人口減や景気低迷により税収が伸びず類似団体平均を下回っている。行政改革集中改革プランに基づき定員管理の適正化(5年間で5%減)や事務事業の見直しを進め行政の効率化に努めることにより財政の健全化を図る。

経常収支比率: 経常収支比率 81.4%は類似団体平均を下回っているものの扶助費や補助費の増等により前年度に比べ1.1%増加している。人件費や物件費については行政改革集中改革プランに基づき削減を図っており、また公債費についても平成19年度より3年間年利5%以上の高利債について繰上償還を行い公債費負担(利子26,827千円)の負担軽減を図り経常収支比率の改善に努める。

実質公債費比率: 国営請戸川土地改良事業負担金に係る債務負担行為(H18年度21億9,800万円)が算入されるため類似団体平均を上回る19.3%となっている。債務負担行為については終了する平成25年度まで年々減少し、地方債の新規発行も年4億円以下に抑制することと引き続き水準を抑えていく。

人口1人当たり地方債現在高: 公債費負担適正化計画に基づき地方債の新規発行を年4億円以下に抑制し、地方債残高の減に努めており、類似団体平均を下回っている。また平成19年度より公的資金補償金免除繰上償還制度により繰上償還を行い公債費負担の軽減を図ることとしている。

ラスパイレス指数: 定員管理の適正化に取組み人件費の抑制に努めているもののラスパイレス指数97.1は類似団体平均を若干上回っている。平成19年度新給料表の導入により給与体系の見直しに取組みより一層の給与の適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数: 定員管理適正化計画に基づき定員の適正化に取り組んでおり類似団体平均と同程度となっている。今後も定員管理の適正化(5年間で5%減)や民間委託の推進等に取組み適正な定員管理に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額は類似団体平均とほぼ同程度となっている。これは委託料や需用費等物件費の抑制、施設の計画的な修繕による維持補修費の抑制等によるものである。今後も事務事業の見直しにより経常経費の抑制を図っていくこととしている。